

## 最近の管内経済概況

(2023年4月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、持ち直している。
- 観光は、緩やかに改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数は増加、負債総額は減少した。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年6月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2023年6月現在)

発表月	2023年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u> (↗)	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
生産活動	<u>弱い動きとなっている</u> (↘)	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
個人消費	<u>緩やかに持ち直している</u> (↗)	緩やかに持ち直している	<u>持ち直している</u> (↗)	持ち直している	持ち直している	持ち直している	
観光	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	
公共工事	減少した	減少した	減少した	減少した	減少した	<u>増加した</u> (↗)	
住宅建設	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u> (↘)	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>弱まっている</u> (↘)	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直しの動きがみられる	<u>弱まっている</u> (↘)	
企業倒産	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

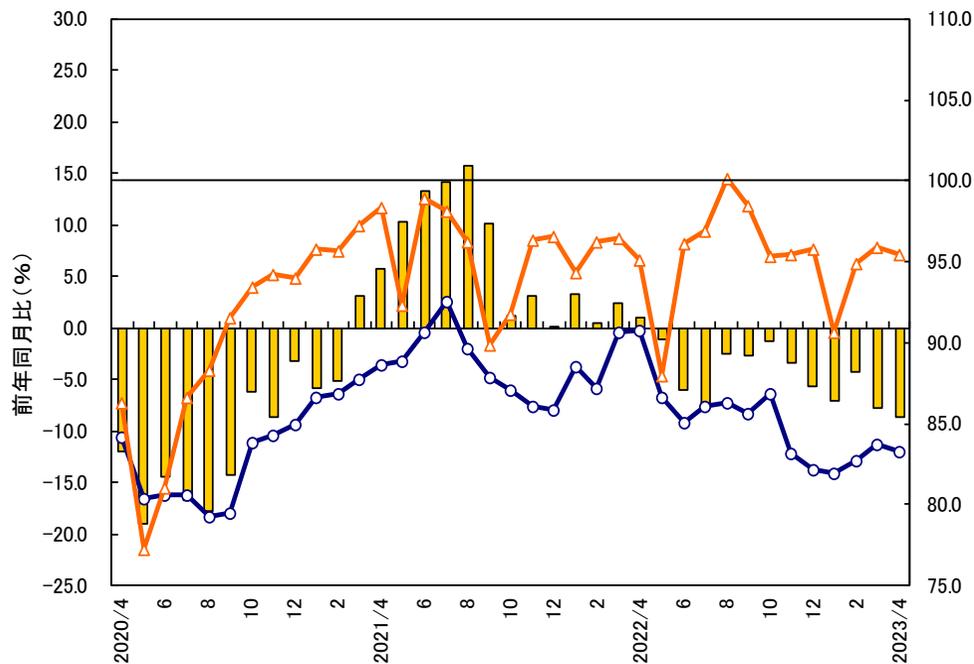
# 生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

4月の鉱工業生産は、前月比▲0.5%と3か月ぶりに低下した。前年同月比は▲8.6%と12か月連続で低下した。低下業種は、一般機械工業など10業種となった。上昇業種は、電気機械工業など5業種となった。

< 4月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	83.3 (前月比▲ 0.5%)
全国 (速報)	95.5 (前月比▲ 0.4%)

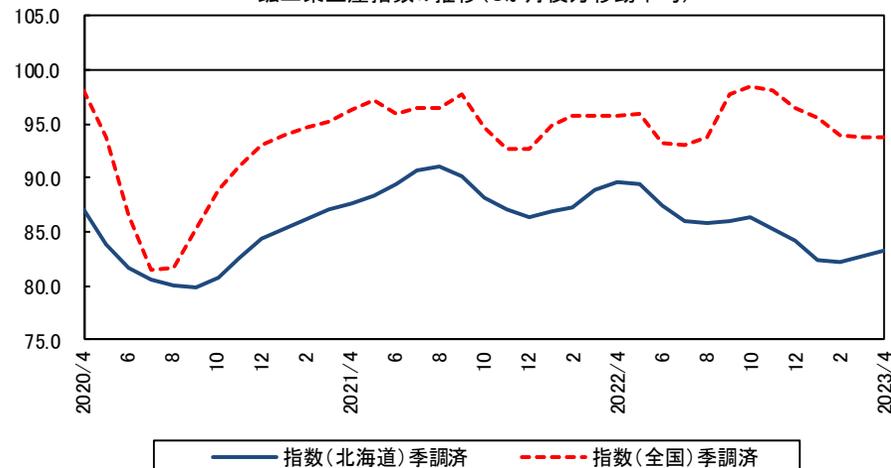
	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
低下 10業種	一般機械工業	▲ 7.6	▲ 1.4	一般機械 普通鋼棒鋼 鉄骨
	鉄鋼業	▲ 4.7	▲ 12.4	
	金属製品工業	▲ 3.5	+ 4.9	
上昇 5業種	電気機械工業	+ 7.6	▲ 12.8	電子部品

鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



■ 前年同月比(原指数)    ● 指数(北海道)季調済    ▲ 指数(全国)季調済

鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)



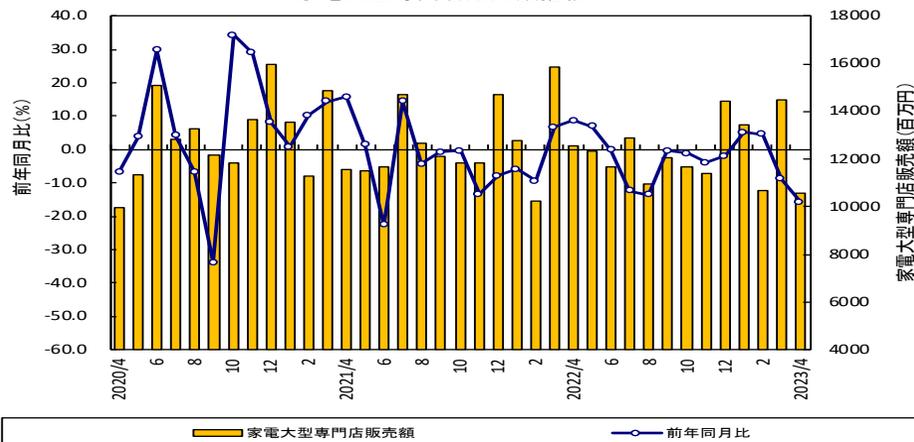
— 指数(北海道)季調済    - - - 指数(全国)季調済

(資料：経済産業省、北海道経済産業局)



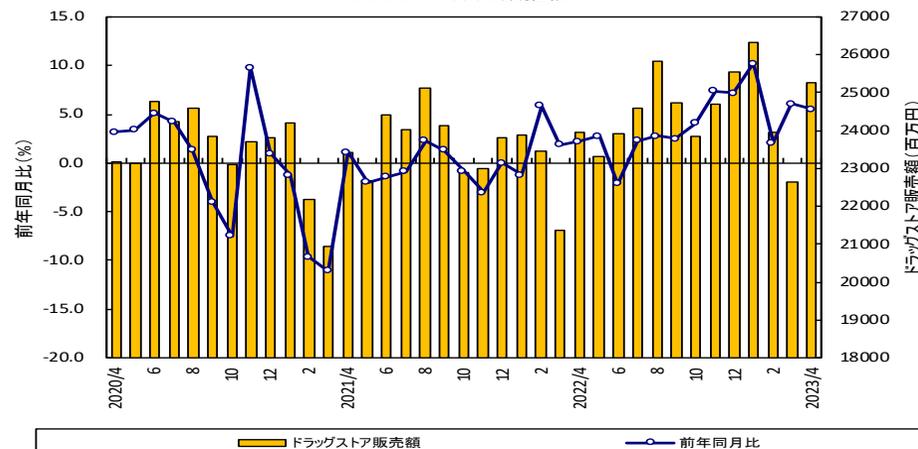
- ・家電大型専門店は、同▲15.8%と2か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+5.5%と10か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲7.2%と3か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同+24.5%と8か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



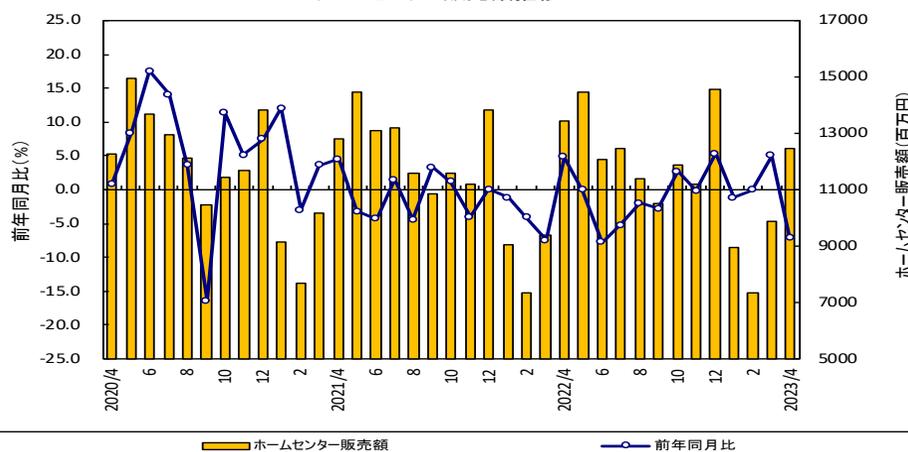
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

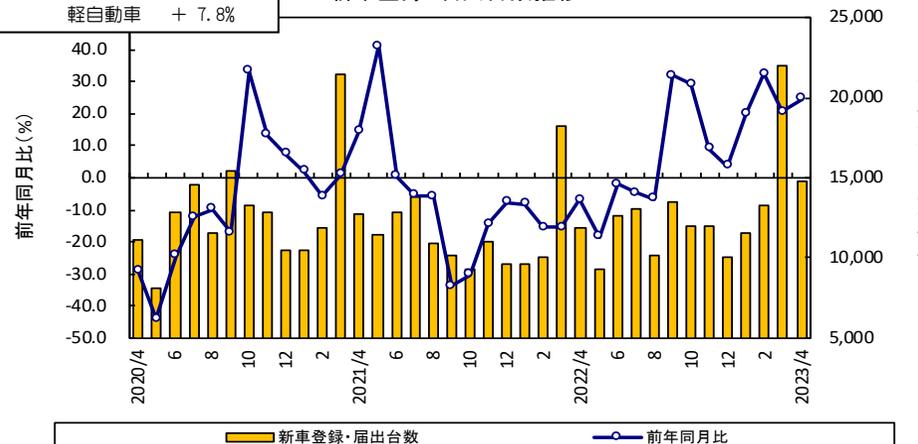
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

< 4月 > 普通乗用車 +48.9%  
 小型乗用車 +11.2%  
 軽自動車 + 7.8%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

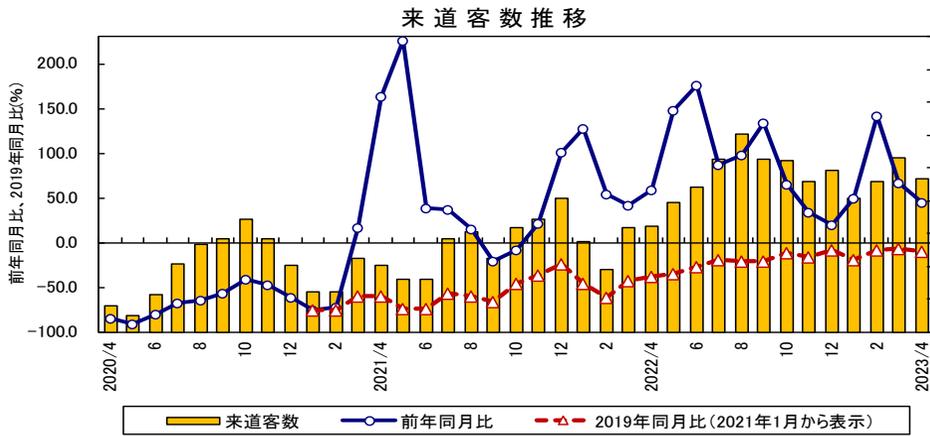
【ヒアリング内容】

- ・昨年好調だったエアコンと、一昨年までの巣ごもり需要で好調だったテレビの反動減が続いていることにより、先月に引き続き売上げが減少した。(家電大型専門店)
- ・化粧品の売上げが好調となっている。特に比較的低価格帯のメイクアップ商品の売上げが良かった。また、インバウンド販売額も増加傾向となっており、特に鎮痛剤や風邪薬などの医薬品の売上げが好調だった。(ドラッグストア)
- ・値上げの影響で客単価が増加したものの、客数が減少したことから、売上げが前年を下回った。4月は雨の日が多く、肥料などの園芸関係の売上げが良くなかった。(ホームセンター)

# 観光 ～ 緩やかに改善している ～

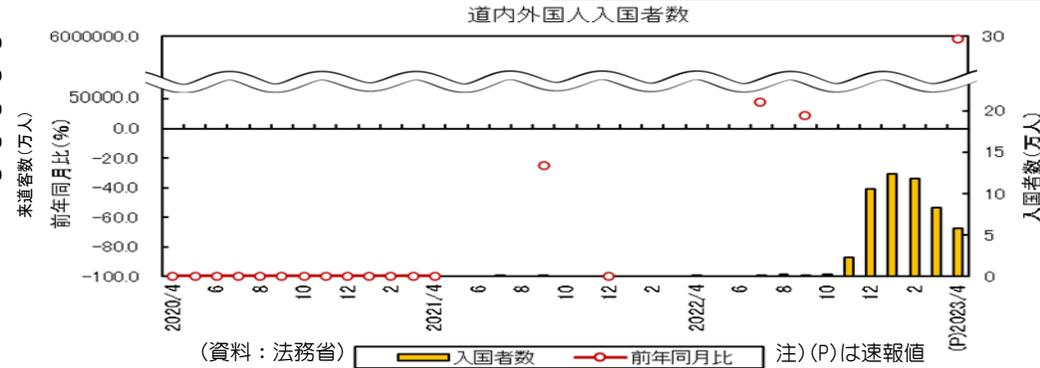
4月の来道客数は、前年同月比+44.7%（2019年同月比▲9.6%）と18か月連続で前年を上回った。また、道内外外国人入国者数は、58,397人（前年同月差+58,396人）であった。

< 4月 > 入国者数 58,397人 (5,839,600.0%)



< 4月 > 来道客数 937,450人 (+44.7%)  
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

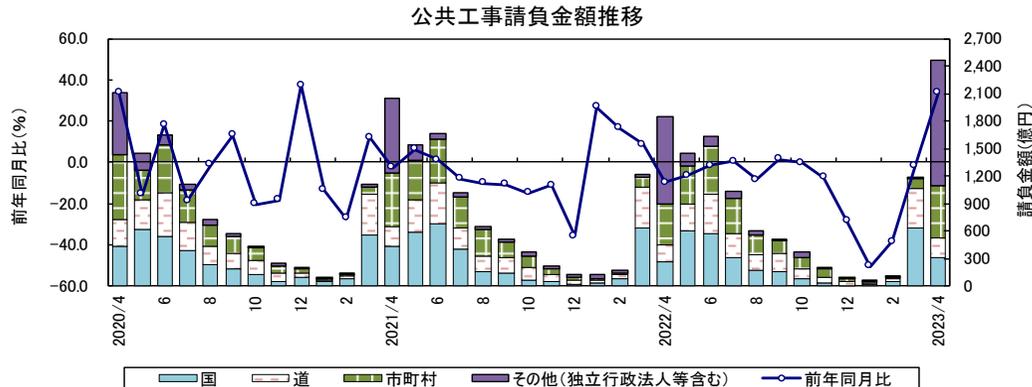


## 【ヒアリング内容】

・4月は、平日や休日を問わず幅広い年齢層の観光客が前年より多くみられ、お土産物屋の売上げも前年に比べ増加した。5月は、大型連休期間中の3日から5日に宿泊者数がピークとなり、前年より増加する見通し。また、中旬以降は道内外から多くの修学旅行生もみられるようになった。インバウンドは、韓国や台湾などのアジア圏を中心に個人客が多い印象。（観光協会）

# 公共工事 ～ 増加した ～

4月の公共工事請負金額は、国、道、市町村全てで前年を上回り、前年同月比+33.8%と7か月ぶりに前年を上回った。



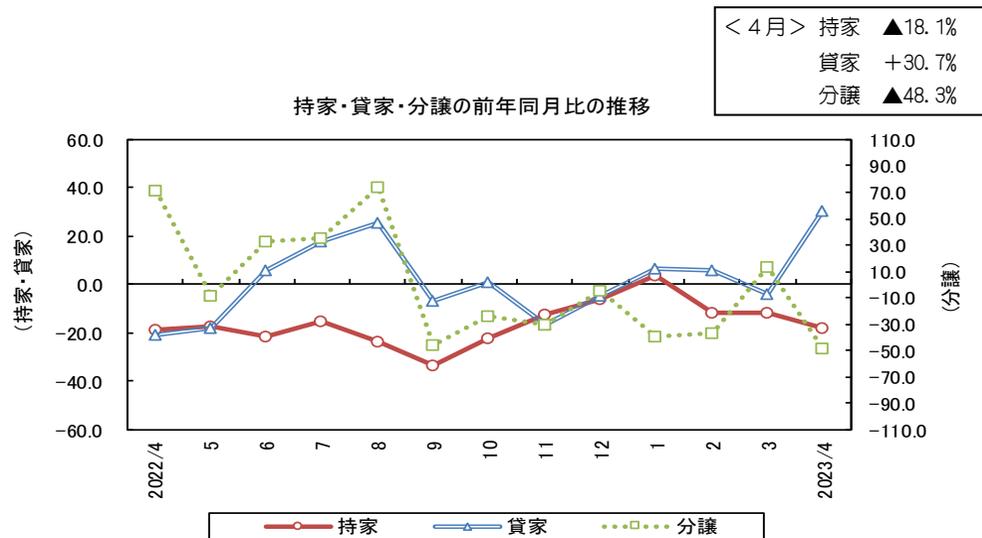
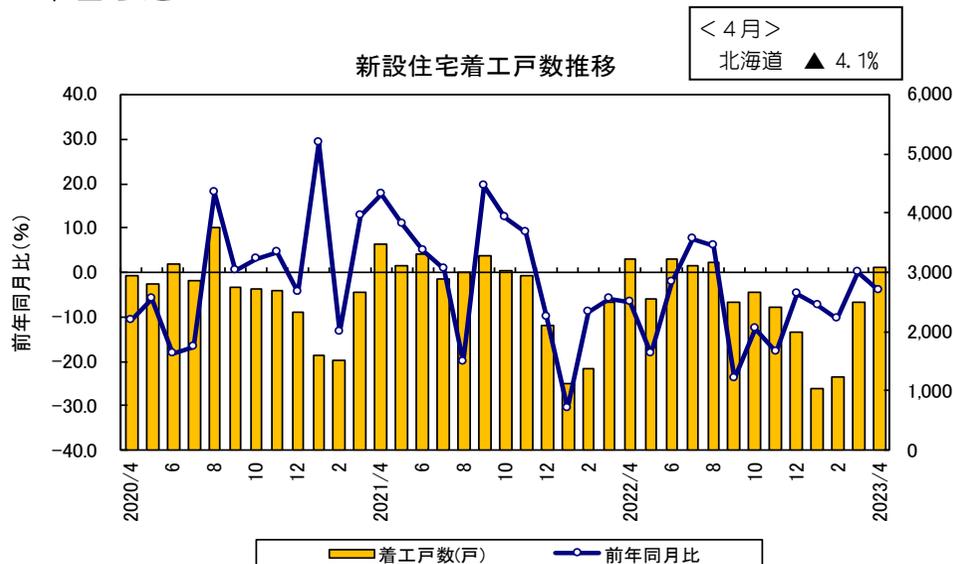
< 4月 >  
 北海道 +33.8%  
 (内訳)  
 国 +15.0% 道 +19.0% 市町村 +27.6% その他 +44.9%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ~ 弱まっている ~

4月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲4.1%と8か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ~ 増加している ~

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+5.2%と2年連続で前年度を上回った。

## 日銀短観の設備投資動向

2023年4月3日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 12.6%	+ 5.2%
製造業	+ 42.1%	+ 24.1%
非製造業	+ 3.4%	▲ 2.9%
全国	+ 11.4%	+ 3.9%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

## 法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年3月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 5.0%
製造業	+ 34.7%	+ 60.0%
非製造業	+ 24.0%	▲ 22.0%

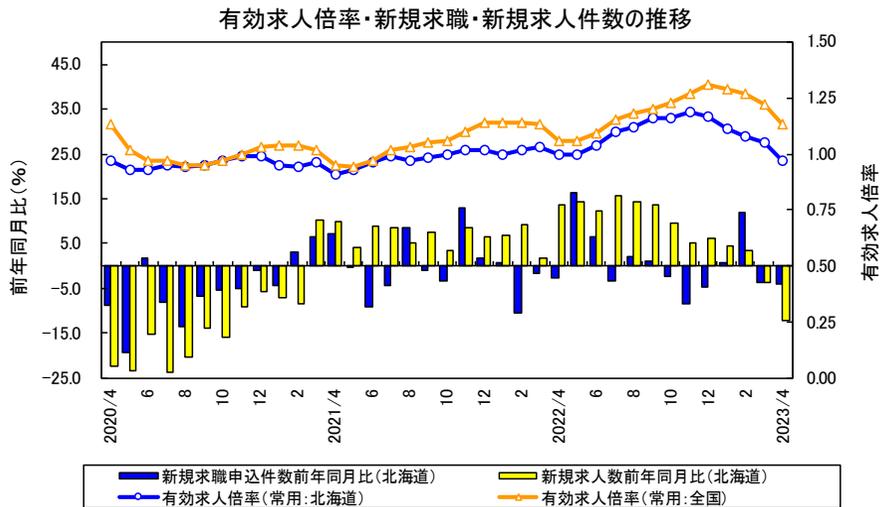
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

4月の有効求人倍率は、0.97倍と前年同月差0.03ポイント低下し、23か月ぶりに前年を下回った。

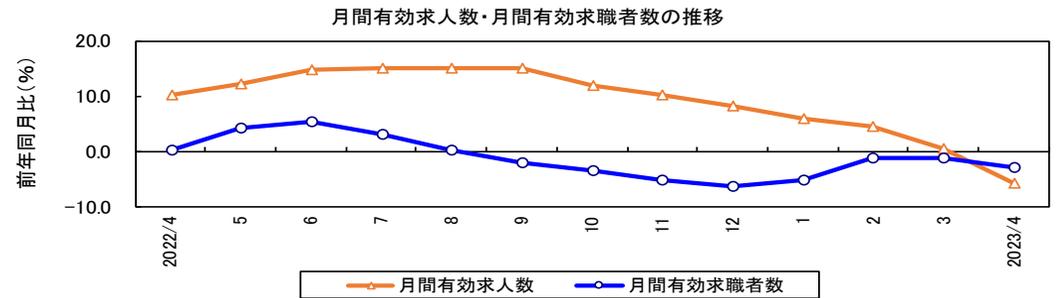


< 4月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.97倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲12.0%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲4.1%
全国	有効求人倍率(常用)	1.13倍

< 4月 >

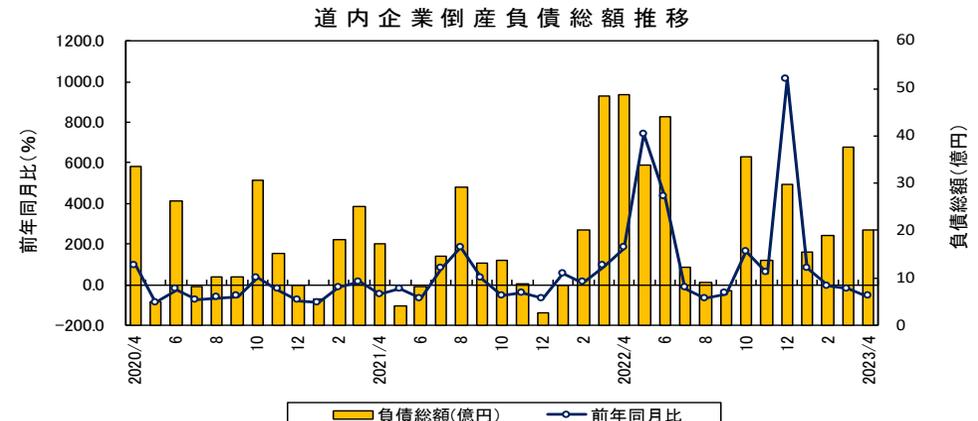
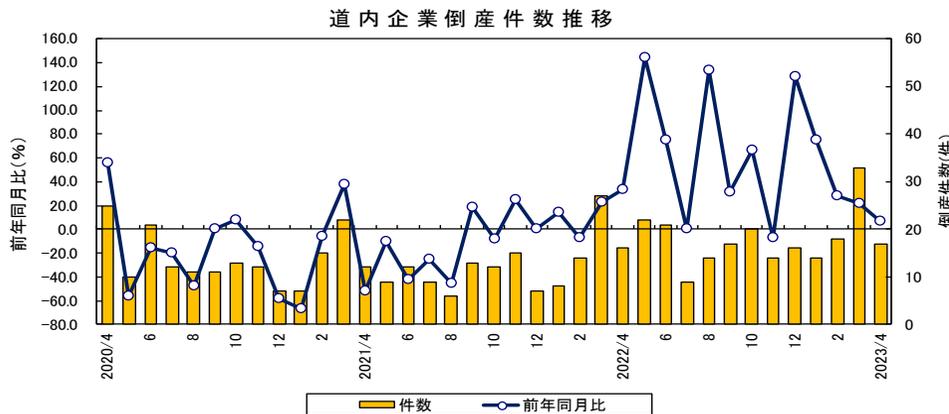
	月間有効求人数(前年同月比)	▲5.6%
	月間有効求職者数(前年同月比)	▲2.8%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ～ 件数は増加、負債総額は減少した ～

4月の倒産件数は17件で、前年同月比+6.3% (1件増) と5か月連続で前年を上回った。また、負債総額は20億円で、同▲58.8%と3か月連続で前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)